

# 湛水直播管理情報(第2号)

～湛水土中直播(カルパーコーティング)～

令和2年4月24日  
アルプス農協管内農業技術者協議会

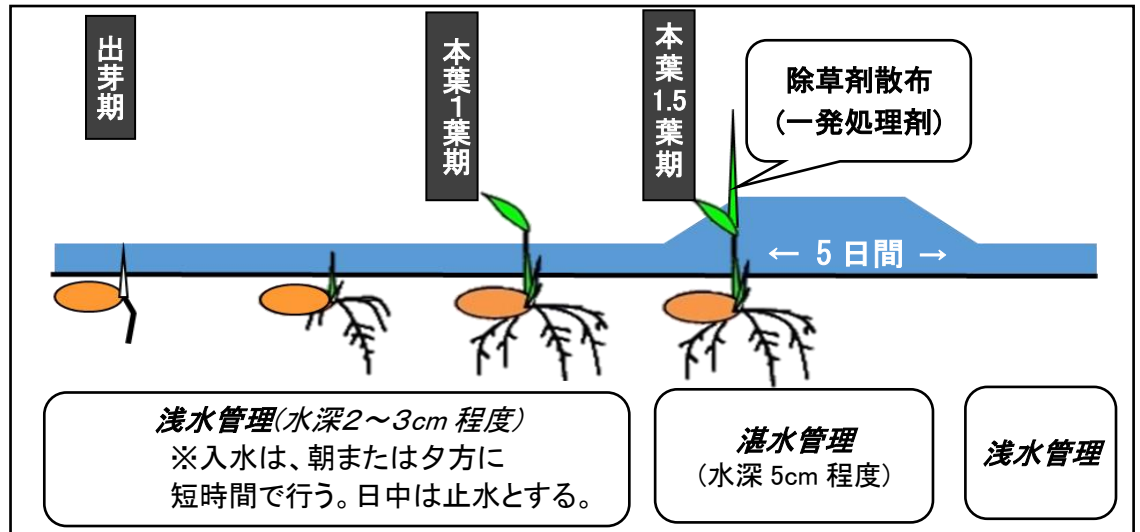
## 1. 出芽期以降の水管理

- ・出芽期以降は、水深2～3cm程度の浅水管理を行い分けつの発生を促しましょう。
- ・除草剤(一発処理剤)を使用する場合、散布後5日間は水深5cm程度を保ち、その後は浅水管理としてください。

⚠ 深水にしておくと、藻が多発し、稲が軟弱徒長になり、苗立ちに影響するので、注意しましょう！

- ・藻や表層はく離が発生した場合は、軽い田干しや水の入れ替えを行いましょう。

【出芽期以降の水管理のイメージ】



## 2. 初期害虫の防除

- ・移植と違い苗箱施薬による防除を行わないため、近年、イネミズゾウムシ等の初期害虫の発生が目立つ圃場(特に直播の連作圃場)がみられます。発生状況等に応じ、防除を実施しましょう。

＜防除の目安(注:5月下旬～6月上旬に以下の防除目安を参考にして防除を実施)＞

対象害虫	防除の目安	薬剤名	処理量	使用上の注意点
イネミズゾウムシ	成虫数 3.0頭/10株	トレボン 粒剤	2～3kg/10a	・湛水状態(3～5cm)で均一に散布する。 ・散布後、少なくとも4～5日間は湛水状態を保つ(7日間は、落水、かけ流しはしない)。
イネドロオウムシ	成虫数 0.5頭/10株	トレボン 粉剤DL	3kg/10a	・前年多発した圃場等では発生状況を必ず確認する。 ・幼虫の食害が見られたら、防除の目安を参考に防除を行う。



イネミズゾウムシ(成虫)と食害あと



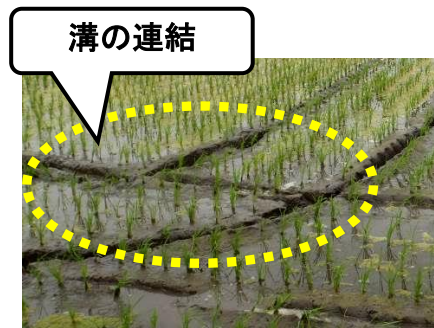
イネドロオウムシ(幼虫)と食害あと

## 3. 溝掘りの実施

- ・入水と落水をスムーズにし、中干しの効果を高めるため、**6月上旬までに溝掘りを実施しましょう。**
- ・作溝は**10～15条に1本の間隔を目安**に行いましょう。また、播種機でできた溝の手直しや連結を確実にいきましょう。

### 【溝掘りの効果】

- ①入排水を短時間で均一に行うことができ、水管理がしやすくなる。
- ②水口冷えが抑えられて、収穫作業が容易になる。
- ③中干しの効果を高め、稲の根を健全にする。



## 4. 除草剤散布(雑草が残った場合)

- ・一発処理剤の散布後も雑草が残っている場合は、雑草の種類や発生状況に応じて、除草剤を散布しましょう。

発生草種	除草剤名	使用時期	10a当たり散布量	使用上の注意点
ノビエ	クリンチャー 1キロ粒剤	播種後10日～ノビエ3葉期 (ただし、収穫30日前まで)	1.0kg	・5cm程度の水深で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。 ・散布後に多量の降雨が予想される場合は使用を避ける。
		播種後25日～ノビエ4葉期 (ただし、収穫30日前まで)	1.5kg	
	クリンチャーEW	播種後10日～ノビエ5葉期 (ただし、収穫30日前まで)	100mL (希釈水量25～100L)	・雑草の茎葉に確実に付着するよう、散布する。 ・晴天日を選んで散布する。 ・展着剤を加用する。
ノビエ、マツパイ ホタルイ 他	アクシズMX 1キロ粒剤	イネ1.5葉期～ノビエ4葉期 (ただし、収穫45日前まで)	1.0kg	・5cm以上の水深で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。 ・散布後多量の降雨が予想される場合、使用を避ける。 ・水持ちの悪い水田、畦畔から漏水が多い水田では使用を避ける。
ノビエ マツパイ ホタルイ	クリンチャーバス ME液剤	播種後10日～ノビエ5葉期 (ただし、収穫50日前まで)	1,000mL (希釈水量70～100L)	・落水状態で散布し、散布後3～4日間は入水、落水をしない。 ・散布後に晴天が続くような日を選んで散布する。 ・展着剤は加用しない。
マツパイ、ホタルイ、 ミスガヤツリ 他	バサグラン液剤	播種後35～50日 (ただし、収穫50日前まで)	500～700mL (希釈水量70～100L)	・落水状態で散布し、散布後3～4日間は入水、落水をしない。 ・散布後に晴天が続くような日を選んで散布する。

※農薬は、ラベルの内容を確認し、安全使用基準をしっかりと守って使用しましょう！

《湛水直播管理情報(第3号)は、6月5日頃発行の予定です》